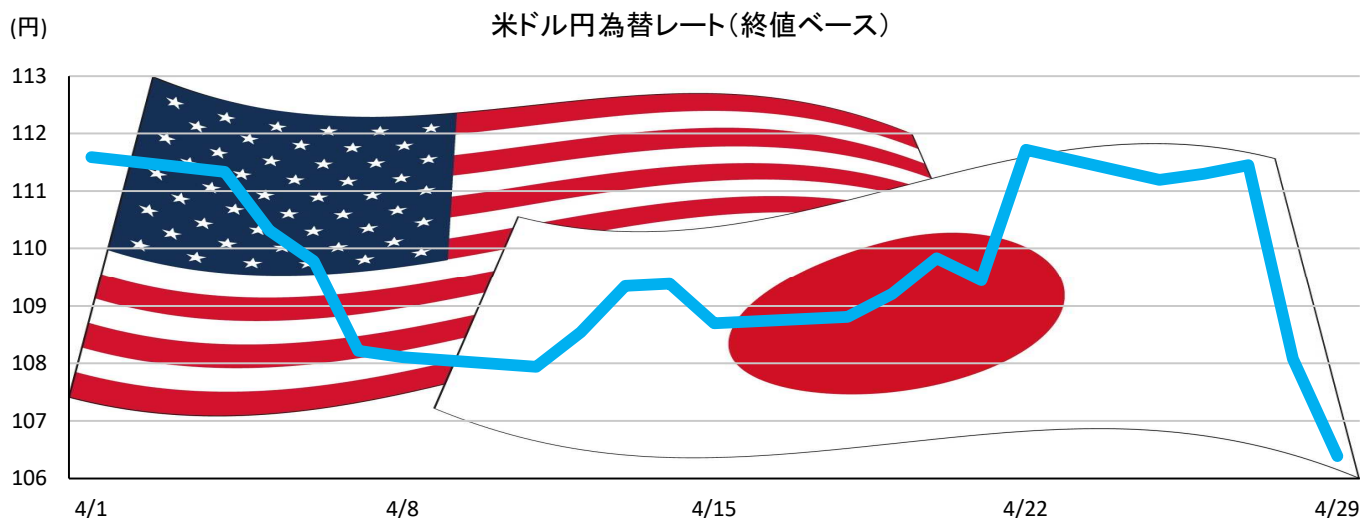


MARKET REVIEW

先月の振り返り：4月のドル円相場は、106円前半～111円後半のレンジで推移した。市場では日本が為替介入を行わないと受け止められ、FOMCの議事要旨でも利上げに慎重な姿勢が認識された。FOMCの声明文は、通常通り時期を絞らせずに利上げ継続の意向を維持したため、ドル円の値幅は限定される動きとなった。一方、日銀は実質GDPなどの見通しを引き下げ、物価目標の達成時期も、従来の「2017年度前半頃」から、「2017年度中」へ後退させた。そして、政策の現状維持が伝わると、ドル円は、111円台後半から107円台まで4円近くも急落した。



EXTRA VISION

今後の展開：ドル円相場は、いまだ底が見えず、再び年初来安値を更新する可能性も高い。やはり短期に上がり過ぎた相場は調整されやすいのだろう。「購買力平価」や「実質実効為替相場」で見れば現在の水準は、まだまだ過剰と見られており、自然と調整の幅も大きなものを想定してしまう。4月末に発表された米為替政策報告書を巡る動きも、この流れから大きく変わるには至らないかもしれない。5月以降は、「伊勢志摩サミット」、「イギリスのEU加盟の是非を問う国民投票」、「日本の参議院選挙」など立て続けに大きなイベントがあり、為替への影響も必至だと言える。黒田バズーカや投機筋などの所詮、一時的なノイズではなく、本質的なトレンドの変化が待ち遠しい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
5/4 (水)	21:15	US	ADP雇用統計	☆☆☆
5/6 (金)	21:30	US	米雇用統計	☆☆☆
5/13 (金)	21:30	US	小売売上高	☆☆☆
5/17 (火)	21:30	US	消費者物価指数(CPI)	☆☆☆
5/19 (木)	3:00	US	FOMC議事要旨	☆☆☆
5/19 (木)	20:30	EU	ECB議事要旨	☆☆☆
5/24 (火)	23:00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆